事務事業評価＆総合計画実施計画調査シート

	コード	名　　称	区分	コード	名　　称
事業名	109	芭蕉祭執行等経費	会計	01	一般会計
			款	02	総務費
基本施策	35	文化・芸術により、豊かな感性と創造性を育む	項	01	総務管理費
			目	08	芭蕉顕彰費
施策	4	松尾芭蕉を核とした地域づくりの推進	細目	101	芭蕉翁顕彰経費
			細々目	01	芭蕉祭執行等経費

基本計画該当頁	140	行革大綱の重点事項番号			
担当部課 コード	040200	評価者氏名	澤田　洋子	連絡先	22 - 9624
名称	企画振興部文化国際課				(内線) 2120

事業種別	継続	単独	事業類型	I	ソフト事業	2次評価対象分

事業の計画・内容

	対象等（何を、誰を）	成果（どうなるのか）
事業目的	芭蕉翁を顕彰する人 園児、小学生、中学生、高校生（主に市内の学校、園） （※対象件数　　）	世代に関わらず松尾芭蕉を顕彰することができる。 俳句の普及とともに伊賀市をＰＲできる
根拠法令・要綱等	俳文学関係著作に係る文部科学大臣賞授賞に関する要綱（文部科学大臣賞の授賞のみ関係）	
開始年度	平成　　年度	関連事業
終了年度	平成　　年度	
本年度事業内容	（財）芭蕉翁顕彰会に事業委託をし、いがまち芭蕉翁顕彰会も含めた3者で10月12日に事業を実施した。 ①記念講演会　②墓前法要等 ③式典（上野公園内俳聖殿前広場） ④芭蕉祭行事（市内各地）　⑤協賛行事（市内各地） ⑥義仲寺展墓　⑦芭蕉さんを偲ぶ会（市内各小学校） ⑧行政情報チャンネル及びインタネットで式典の模様を生中継（行政チャンネルでは記念講演会の模様も生中継）	状況変化等：委託料を1,000千円減額した。 （財）芭蕉翁顕彰会といがまち芭蕉翁顕彰会が統一され、これまで委託業務に含まれていた俳文学関係著作に係る文部科学大臣賞選考委員会と子ども俳句大会を19年度より行政で担当することになったため（財）芭蕉翁顕彰会への委託料を更に減額した。

事業実績

活動指標	単位	実績値 H17		実績値 H18		目標値 H19	目標値 H20
芭蕉祭ポスター掲示部数	部	目標	―	目標	300	350	350
		実績	300	実績	300		
芭蕉祭市民バンド練習回数	回	目標	―	目標	8	8	8
		実績	8	実績	9		
芭蕉祭行事等打ち合わせ会	回	目標	―	目標	6	6	6
		実績	6	実績	6		

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値 H17		実績値 H18		目標値 H19	目標値 H20
芭蕉翁献詠俳句投句数	投句数の増が俳句の浸透を表す指標となる	句	目標	45000	目標	47000	45000	45000
			実績	47216	実績	41193		
芭蕉翁献詠俳句投句数（一般）	投句数の増が俳句の浸透を表す指標となる	句	目標	16000	目標	18000	15000	15000
			実績	15834	実績	12472		

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	松尾芭蕉の生誕地として、芭蕉顕彰事業を通して、芭蕉が育んだ文化を後世に伝承することは今後の伊賀市文化の発展にも関わることであり、芭蕉翁を核としたまちづくり推進のためにも必要である。また、伊賀市を国内だけではなく国外へもＰＲしていくことができる。
有効性	3	献詠俳句募集を通して世代に関わらず、芭蕉への献詠俳句を作る機会ができ、松尾芭蕉の顕彰に寄与することができた。 全国47都道府県全てから献詠俳句への応募、一般の部・英語俳句の部募集では合計12カ国からの応募があったが、俳句投句数が減少した。
達成度	3	計画どおり達成できた。
効率性	4	芭蕉翁を核としたまちづくりを推進する伊賀市としては、大きく国内外にＰＲする必要がある。 これ以上の減額は難しい。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A	現状維持	投句者数を増加させるため、（財）芭蕉翁顕彰会と連携し広報活動を行う。

整備内容

1 建設用地	
2 建設面積（延床面積）	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制

1 運営主体	□直営　□指定管理　□民間委託等
委託先	（　　）
2 配置（予定）人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の類似施設	

進捗状況

年度 / 委託 / 工事 / 進捗率（%）

事業内容

	平成17年度 決算内容				平成18年度 決算内容				平成19年度 計画内容				平成20年度 計画内容				平成21年度 計画内容				平成22年度 計画内容			
	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額
				(千円)				(千円)				(千円)				(千円)				(千円)				(千円)
	執行委託料			11,396	執行委託料			11,000	執行委託料			10,190	選考委員報酬			320	選考委員報酬			320	選考委員報酬			320
	放映委託料			1,365	放映委託料			1,250	放映委託料			1,054	報償費			20	報償費			20	報償費			20
	備品購入費			527	その他			12	その他			18	旅費			251	旅費			251	旅費			251
	その他			12									執行委託料			9,416	執行委託料			9,416	執行委託料			9,416
													放映委託料			1,054	放映委託料			1,054	放映委託料			1,054
													図書購入費			100	図書購入費			100	図書購入費			100
													その他			101	その他			101	その他			101
	事業費計(A)		Σ	13,300	事業費計(A)		Σ	12,262	事業費計(A)		Σ	11,262	事業費計(A)		Σ	11,262	事業費計(A)		Σ	11,262	事業費計(A)		Σ	11,262
事業投入人員	人件費（B）	0.6	人	4,320	人件費（B）	0.6	人	4,320	人件費（B）	0.6	人	4,320	人件費（B）	0.6	人	4,320	人件費（B）	0.6	人	4,320	人件費（B）	0.6	人	4,320
フルコスト　(A)＋(B)				17,620				16,582				15,582				15,582				15,582				15,582

事業費（人件費除く）の財源内訳

(A)	事業費	13,300	12,262	11,262	11,262	11,262	11,262
Aの財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	受益者負担						
	その他	1,603	1,593	1,666	1,666	1,666	1,666
	一般財源	11,697	10,669	9,596	9,596	9,596	9,596
	計	13,300	12,262	11,262	11,262	11,262	11,262
備考	その他特定財源の名称・補助基本額・率 地方債の区分と充当率等	芭蕉翁顕彰事業基金　1，603千円	芭蕉翁顕彰事業基金　1，593千円	芭蕉翁顕彰事業基金　1，666千円	芭蕉翁顕彰事業基金　1，666千円	芭蕉翁顕彰事業基金　1，666千円	芭蕉翁顕彰事業基金　1，666千円